

千葉県 JA山武郡市

JA山武郡市版 GAP



OGAP手法取組の概要

平成18年にGAP手法についての研修を受け、平成19年より生産者自らが作成したチェックリストを基に、2部会(海っ子ネギ、増穂ネギ部会)で試験導入。さらに20年からは、主要品目である秋冬ネギ、秋冬ニンジンでも取組開始。

OGAP手法導入のきっかけ、経緯

平成14年から安全・安心への取組として生産履歴記帳運動を展開しており、さらなる安全・安心への取組を行うためプロジェクトを設置。

OGAP手法導入に関し、工夫した点等

部会役員、営農指導員、農林振興センターなどでチーム編成を行い、HACCP方式により、生産者自身で播種から収穫までの作業工程を洗い出し、危害要因を認識した上でチェックリストを作成。また、栽培終了後には検証を行い、チェック項目を改善。

OGAP手法導入によるプラスの効果等

- ・GAP手法導入を取引先に伝えることで、より安全・安心な農産物としてアピールできる。
- ・生産者の意識の向上がみられた。

○実践者からのコメント

- ・ 取り組む前は難しそうだと感じたが、いざ実践してみると「これならできるかな」と思うようになりました。
- ・ 自分たちが栽培しているネギを農産物から「食品」として捉えるようになりました。
- ・ 自分たちで一つ一つの作業を見直しチェックリストを作成するので、これまでは無意識に行っていた栽培期間中の危害を再確認し、より安全・安心な農産物生産を意識するようになりました。